

事業所名

こども支援事業所つくしくらぶ

支援プログラム

作成日

2024年

10月

15日

法人（事業所）理念	「障害がある子ども」ではなく『一人の子ども』として、家庭・福祉・教育・医療と連携し、子ども達の明るい未来を切り拓いていきます。		
支援方針	子どもが当たり前のように経験し学ぶ事を、つくしくらぶの児童も障害の有無に関係なくたくさんの経験と体験を通して学び、心豊かで穏やかな日々を過ごし、自らの力で困難を乗り越えるたくましさを養い、将来の自立した生活が行えるように支援します。		
営業時間	10時00分から18時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	健康状態を維持し、生活習慣や生活リズムを整え、基本的な生活スキルの獲得を目指します。 ・来所後直ぐに検温と体調を確認し手洗いが終わった児童は、自分がしたい事、しなければならない事など、時間を決めて行う為の予定表を書いてもらいます。	
	運動・感覚	適切な姿勢を保持し、適度な運動・動作において身体能力の向上と保有する感覚の有効な活用を目指します。 ・平時は施設内にてダンスやリズムスティック、ハンドベル演奏などを集団活動の時間に行い、良い気候の時はお散歩を兼ねて公園で遊びます。 学校休業日は体育館やプールなどで元気いっぱい体を動かして遊びます。	
	認知・行動	物の機能や属性、大きさや形、色、音の変化、空間や時間、数等の概念を習得し、自分に入ってくる情報を適切に処理し、適切な行動ができる事を目指します。 ・集団活動の時間を使い、絵本の主人公の気持ちを考察したり（認知行動療法）、トランプやウノのカードゲームで文字や記号、数字の理解を促しています。	
	言語・コミュニケーション	個々の特性に応じた読み書き能力の向上を図り、具体的な事象や体験と言葉の意味を結び付ける事で豊かな表現力を養い、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えられる言語の表出を目指します。 ・集団活動の時間を使い、相手の考えを予測して当てるゲームやこども新聞を読んで自分が興味のある記事をみんなに発表したり意見を聞いたりなど行っています。	
	人間関係・社会性	大人が介在する事で一人遊びからルールを守ってお友達と協働遊びを行い、自分のできる事やできない事など自分の行動の特徴を理解し、気持ちや情動の調整ができる様になり遊びや集団活動に参加できる事を目指します。 ・曲あてゲームやなぞなぞ対決、早口言葉対決など、チームを作って協力しながら対戦します。	
家族支援	定期的な面談を通して、家庭での困り事や悩みを共有し、適切なアドバイスを行います。	移行支援	次のステージに関する情報を提供し、保護者と相談の上、次のステージで必要となる活動や環境を体験する機会を提供し、子どもが安心して移行できるように支援します。
地域支援・地域連携	地域の社会資源を活用して子供達に有意義な情報を提供し、地域の学校や他の事業所等との情報交換を行います。	職員の質の向上	職員個々の自己啓発のための勉強会や外部研修への参加を促し、社内ミーティングを通して職員の疑問や不安を払しょくし、情報を共有する事で同じ目標に向かって支援します。
主な行事等	日本文化である季節の行事を中心に、可能な限り経験や体験から得られる心身の向上を目標としたプログラム等の実施を行います。		